

スロットルブースター 取扱説明書
THROTTLE BOOSTER
 SPORTS LINE

この度は弊社製品スロットルブースターをお買い上げ頂き、まことにありがとうございます。本製品は電子スロットル方式のセンサー入力信号を独自回路により制御し、エンジンレスポンスを向上させるコントローラーです。
 本製品を安全にご使用して頂く為に、装着ならびご使用前に必ず本説明書を読んで、内容を十分に理解のうえ取り付け作業をおこなって下さい。取り扱い説明書のVol番号が最新でない場合は当社ホームページ上の取り扱い説明書をダウンロードして取り付け、調整をおこなって下さい。

警告 死傷につながる恐れがある事故を未然に防ぐ為の事項を示してあります。

- 走行中に本製品を操作しないで下さい。運転操作の妨げになり、事故の原因となってしまいます。
- 本体は運転の妨げにならない場所へ固定して下さい。
- 本製品は電子スロットルの制御をおこないます。配線の接続及び、使用方法を間違えると車両の不調・破損・事故をきたす場合があります。取り付け、使用には十分慎重に取り扱い下さい。なお、取付、取扱が原因で車両の不調・事故が発生しても当社では一切の責任を負えません。

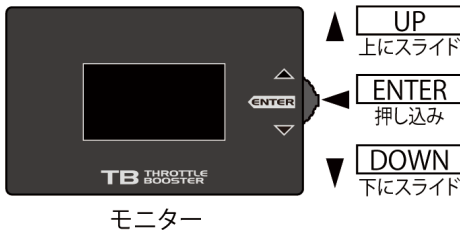
注意 または、車両や商品の損傷を未然に防ぐ為の事項を示してあります。

- 取り付け作業はエンジンを停止させ、安全な場所でおこない専用設備をもった専門の業者に必ず依頼して下さい。
- 本製品およびハーネスは水のかからない場所、アクセルやブレーキ等の操作に支障がない場所に設定してください。
- 製品を分解もしくは改造して使用した場合、当社では一切責任を負うことが出来ません。

● 内容物

- スロットルブースター本体 ● モニター ● DCXハーネス ● モニターハーネス ● L字ステー ● エレクトロタップ
- 両面テープ×大1 ● 両面テープ×小2 ● タイラップ×4

1.各部の名称と説明



● 通常操作時

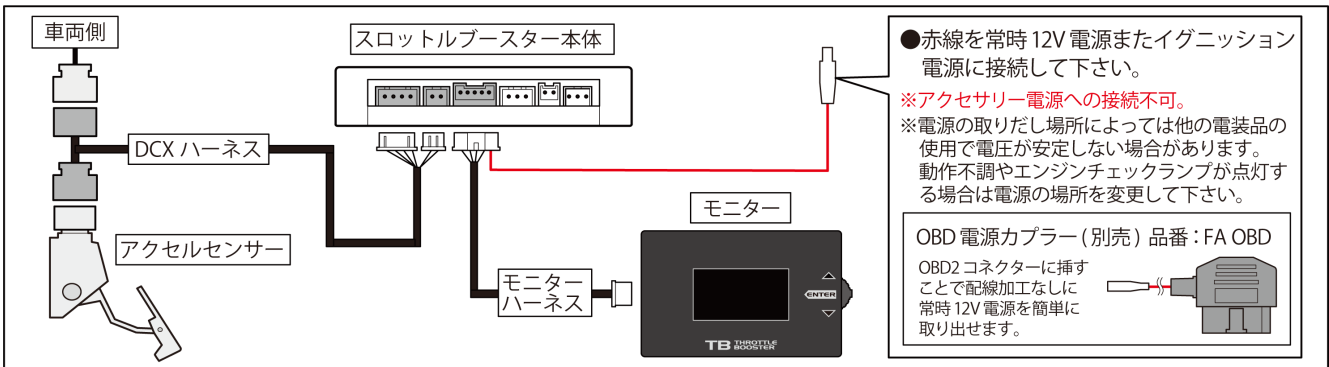
UP	短押	ピーク値を表示します。※表示後に値はリセット。
	長押	5秒以上長押しでオプション設定1に移行します。
ENTER	短押	動作をON/OFFします。
	長押	5秒以上長押しで初期設定開始を開始します。
DOWN	短押	セットA～Cに割り当てたモードを切り替えます。
	長押	5秒以上長押しでオプション設定2に移行します。

● 設定画面操作時

UP	短押	選択項目で上に移動。
ENTER	短押	決定して次の項目に移動。
DOWN	短押	選択項目で下に移動。

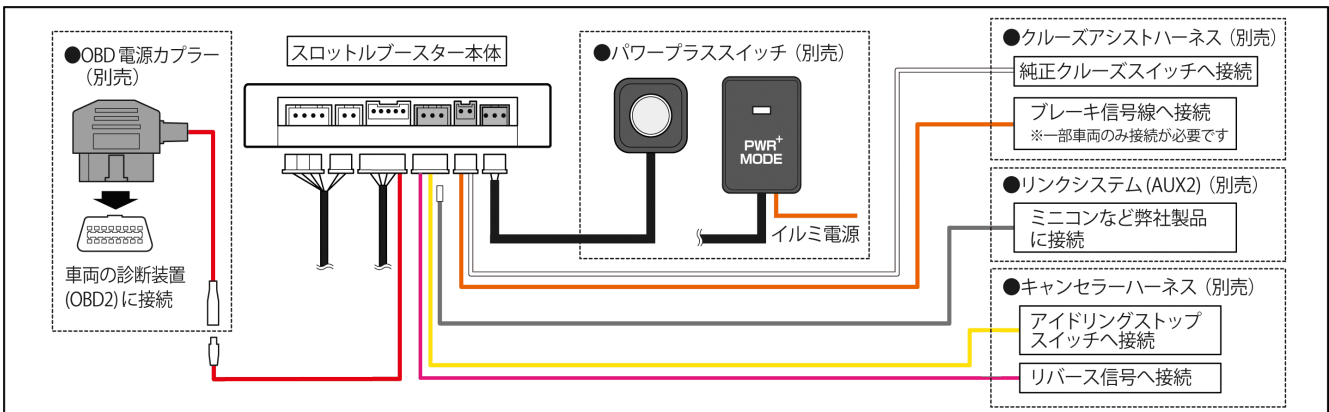
2.配線図

● 基本配線図



● オプション装着時配線図

別売のオプションを接続した状態です。取付方法、詳細は各オプションの取扱説明書をご確認下さい。



3.車両への取付方法

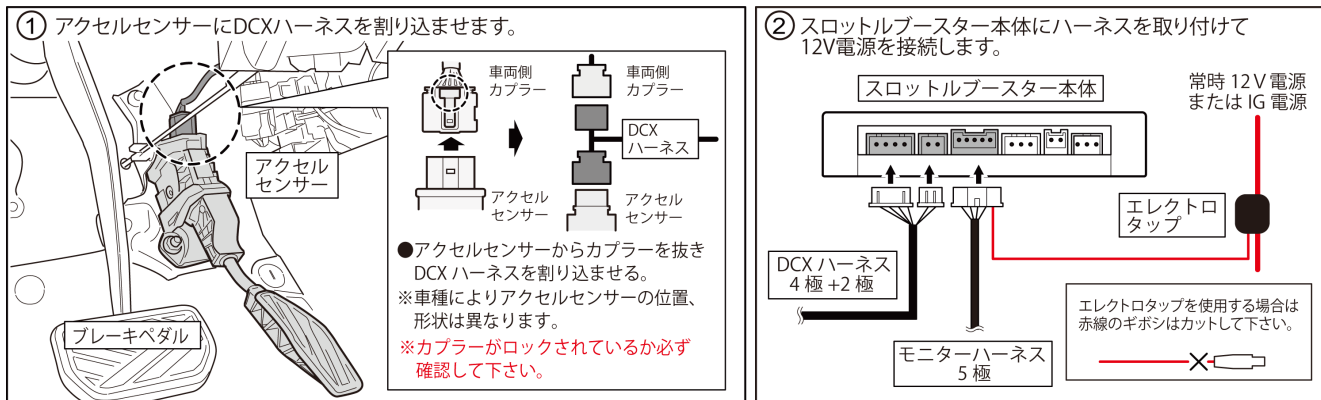
注意 ●エンジンを停止させ、エンジンキーを抜いてから10分以上たってから作業をおこなってください。

※エンジンをオフにしてもしばらくは待機状態となりECU、センサーの電源が切れません。電源が切れる前にセンサーからカプラーを抜くと信号断線と判断してエンジンチェックが点灯してしまいます。

●取付作業はバッテリーを外さずにおこなってください。アイドリング学習、他設定がリセットされます。

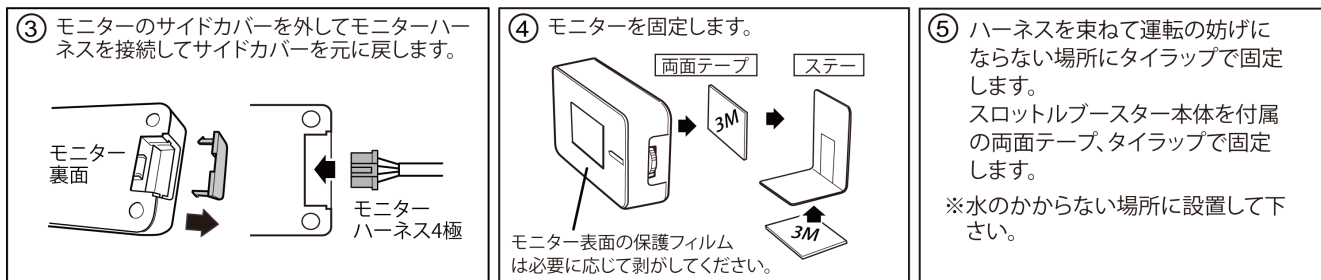
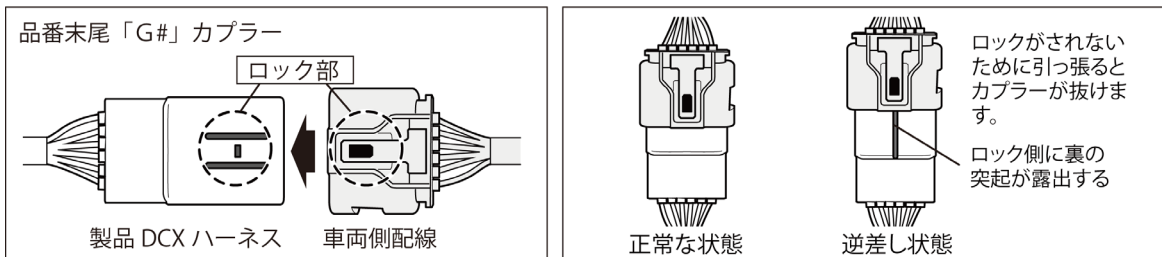
●スロットル制御に関わる部分です。接続位置、接触には注意して慎重に作業を行ってください。

●取付後は必ず初期設定を行ってください。初期設定を行わないと正常動作致しません。

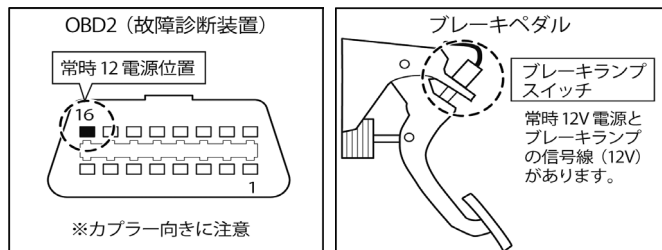


注意 品番末尾「G2、G3、G4、G5、G6」の製品(TB-##G#) は表裏逆向きに差し込みが可能なため十分に注意して作業を行ってください。

※正常に取り付けると「カチ」とロック音がします。逆差しをするとロックがかからずカプラーを引っ張ると簡単に抜けます。逆差しをすると配線位置が反転するため正常動作致しません。



【参考資料】 常時12V電源位置



ナビ裏などから電源を取った場合、電装機器の使用状態により電圧が落ちスロットルブースターの動作安定しない場合があります。その場合は下記の常時12V電源に接続してください。

OBD2カプラー(故障診断装置)の16ピンやブレーキペダルのブレーキランプスイッチに常時12V電源があります。※配線を接続する前に必ずテスターで確認をして下さい。※車両によりブレーキペダルにストロークセンサーが装備されています。間違えないよう注意して下さい。

4. 初期設定 (INITIAL SET) ※取り付け後必ず行って下さい。

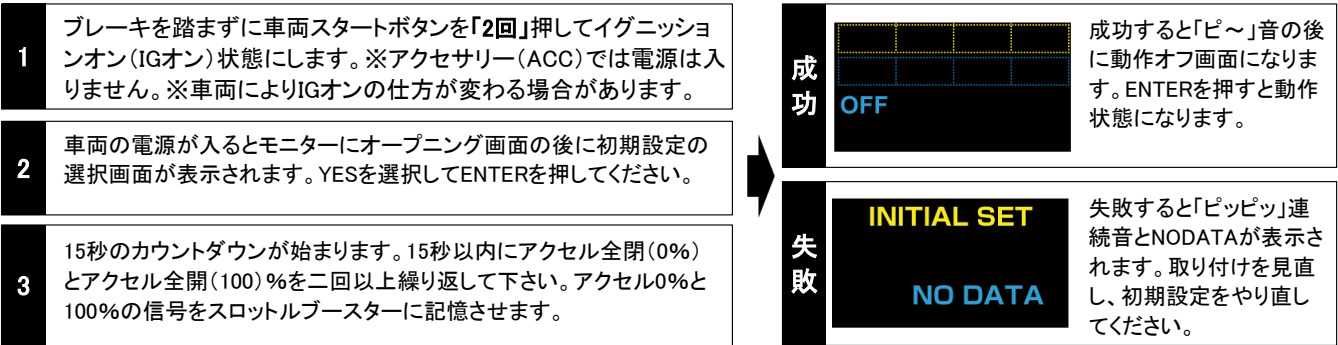
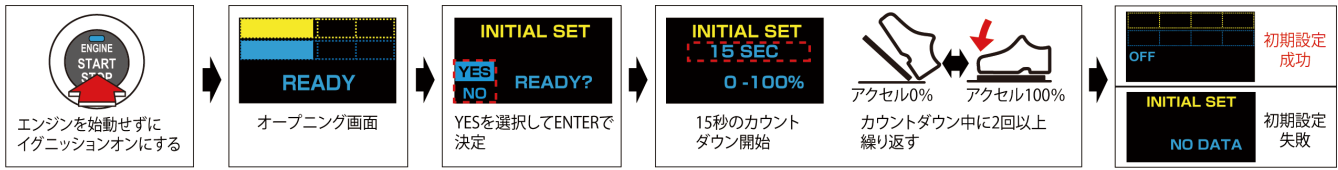
注意 配線取付をすべて行った状態で初期設定を行って下さい。

※配線が接続されていない状態で車両の電源をオンにするとチェックランプが点灯します。

注意 サイドブレーキを引き「エンジンを始動しない」でイグニッションオンにして作業を行ってください。

※初期設定にはアクセル操作が必要です。安全のためにエンジンを始動しないで設定をしてください。

●初めて取り付ける(スロットルブースターにデータが入っていない)場合の初期設定方法



注意 初期設定でアクセルの踏み方が不十分な場合はアイドル不調やエンジンチェックランプが点灯します。

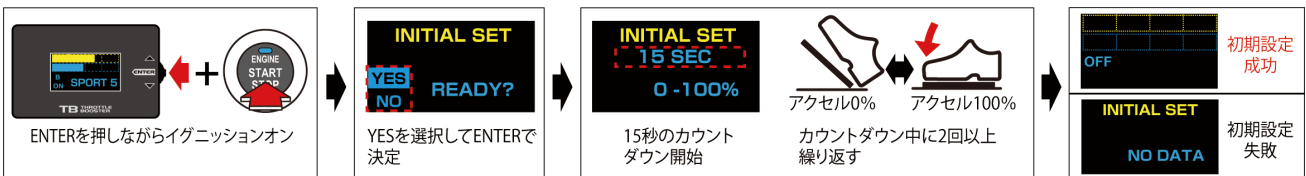
カウントダウン中にアクセル全閉(0%)から全開(100%)を確実に行って下さい。

●初期設定後にデータをリセットして初期設定をやり直す場合。 ※オプション設定も出荷状態になります。



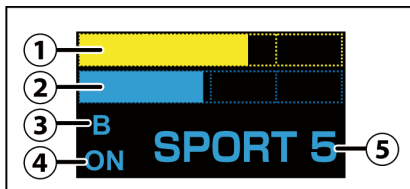
●初期設定済みのスロットルブースターを他の車両に乗せ換える場合

注意 スロットルブースターに車両データが入っている状態で他の車両に取り付けて動作させるとアクセル信号値が違うため車両のチェックランプが点灯する場合があります。他の車両に乗せ換える場合は下記の方法で初期設定を行って下さい。



5. 操作方法

1. モニターの見方

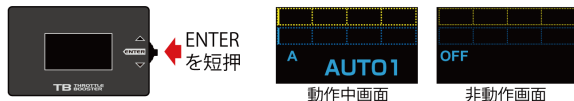


①	車両に送られるアクセル開度を表示します。
②	実際のアクセル開度を表示します。
③	選択されているセット
④	別売オプションの動作状況を表示します。
⑤	現在動作しているモードを表記します。

2. 機能解説

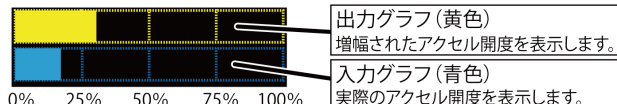
1. スロットルブースターのON/OFF

ENTERを短押することで作動のオン/オフを切り替えることができます



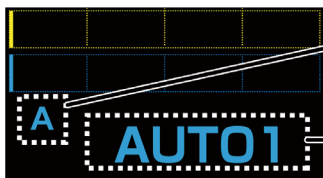
2. グラフの見方

アクセル開度をリアルタイムに視認できます。※バー、ドット表示を選択可



3. 動作モードの切り替え方法

●10種類のモードから3個を選びオプション設定1でセットA,B,Cに割り当てて使用します。



選択中セット
DOWN(短押)を押すたびに
A→B→C→Aと切り替わります。

動作中モード
ABCの各セットに割り当てた
動中のモードが表示されます。



動作中にDOWNを短押でオプション設定2で割り当てた3個のモードが順番に切り替わります。



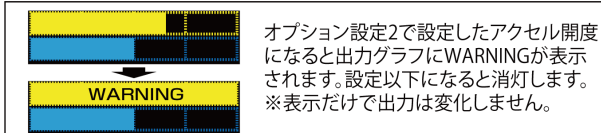
A/
オプション設定2でアクセルスイッチをONにした場合はセット横に「/」が表示されます

※エンジンを切り、再度エンジン始動するとセットAから始まります。常用するモードをセットAに割り当てて下さい。

●モード詳細

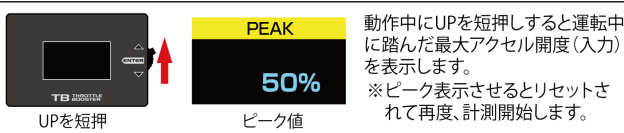
モード	内容
ECO	燃費重視のモードになります。不要なアクセル開放を押さえて燃費を向上を狙ったモードです。
NORMAL	ノーマル状態です。
AUTO1	アクセルワークにより最適なマップを自動選択するインテリジェントモードです。アクセルの踏み始めからスムーズな加速感を得られます。数値が大きいほどアクセルの反応、加速感が増します。
AUOT2	
SPORT1	
SPORT2	
SPORT3	アクセルのオンオフを繰り返すスポーツ走行で絶大に効果を発揮するモードです。数値が大きいほどアクセルの反応、加速感が増します。
SPORT4	
SPORT5	
SPORT6	
PWR+1	オプションのパワープラススイッチ(別売)を取り付けることで使用可能になります。SPORT6を超える加速を体感できます。数値が大きいほどアクセルの反応、加速感が増します。
PWR+2	
PWR+3	

4. WARNINGの表示



オプション設定2で設定したアクセル開度になると出力グラフにWARNINGが表示されます。設定以下になると消灯します。
※表示だけで出力は変化しません。

5. PEAK値の表示



動作中にUPを短押すると運転中に踏んだ最大アクセル開度(入力)を表示します。
※ピーク表示させるとリセットされて再度、計測開始します。

6. アクセルスイッチの操作

アクセルを素早くオンオフ(約0.5秒)することでモード切替が可能。



アクセルスイッチ動作中はモニターのセット表示が変わります



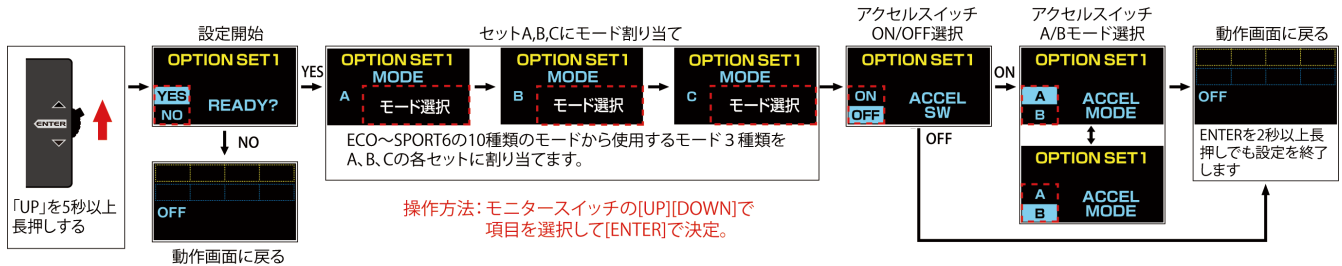
- オプション設定2でアクセルスイッチ(ACCEL SW)をONにするとアクセル操作だけでセットA～Cの切り替えが可能になります。ハンドルから手を離さずに状況に応じたモードを選択することができます。
- オプションのスクランブルスイッチ(別売)を取り付けるとパワープラスモードのオン/オフを切り替えることも可能です。

※アクセルスイッチの使用は必ず前方に車両がない場所にて行って下さい。
※スイッチを足で叩くイメージでアクセルを踏むとスムーズな切り替えが可能です。

6.オプション設定（初期設定後に行ってください。）

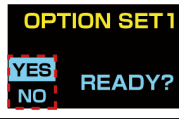
●オプション設定1(OPTION SET1)

※走行中の設定変更は危険です。停車して作業を行ってください。



1. 設定開始

モニタースイッチ[UP]を5秒長押しして選択画面で[YES]を選択してENTERを押すと設定画面に移動します。[NO]を選択すると動作画面に戻ります。



2. モードの設定

ECOからSPORT6まで10種類のモードから3個をセットA,B,Cに割り当てます。[UP][DOWN]で選択してENTERで決定します。運転動作中にDOWNを押すことでA→B→C→Aとセットを変更できます。※モードの詳細は【操作方法】モード詳細をご参照ください。



※エンジンを再始動するとセットAから始まります。常用するモードをセットAに割り当ててください。

3. アクセルスイッチの設定

アクセル操作でセットA～Cの切り替えをします。[ON]で動作、[OFF]で非動作です。アクセルスイッチの詳細は【操作方法】アクセルスイッチの操作をご参照ください。[ON]を選択した場合は動作モードの選択をします。



[A]: セットA～Cを切り替えます。

[B]: パワープラススイッチ(別売)を取り付け時にパワープラスモードのON/OFFを切り替えます。※オプションを取り付けない場合は選択しないで下さい。

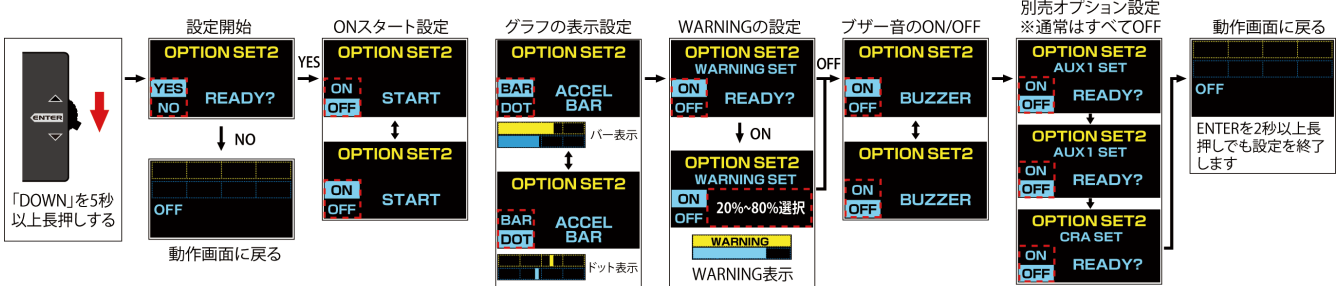


4. 設定終了

設定終了後は安全のため動作OFFになります。使用する場合はENTERを押してください。

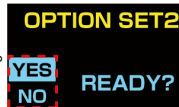
●オプション設定2(OPTION SET2)

※走行中の設定変更は危険です。停車して作業を行ってください。



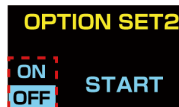
1. 設定開始

モニタースイッチ[DOWN]を5秒長押しして選択画面で[YES]を選択すると設定画面に移動します。[OFF]を選択すると動作画面に戻ります。



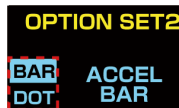
2. ONスタート/OFFスタートの設定

エンジン始動時にスロットルブースターを動作[ON]か作動停止[OFF]にするかを選択します。



3. グラフの表示設定

アクセル開度のグラフ表示をバー表示(BAR)にするか、ドット表示(DOT)にするか選択します。



4. WARNINGの設定

設定したアクセル開度になるとWARNING表示させます。(ONで動作、OFFで非動作) OFFを選択すると【5.ブザー音の設定】に移動します。

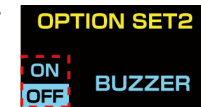


ONを選択した場合はアクセル開度の設定をします。20%～80%の間で設定可能です。



5. ブザー音の設定

ブザー音の設定をします。[OFF]にするとオプション含めたすべてのブザー音を停止します。



6. AUX1(アイドリングストップキャンセル)の設定

別売のキャンセラーハーネスを取り付けた場合に設定します。※使用しない場合は[OFF]を選択。



7. AUX2(リンクシステム)の設定

別売のAUX2接続オプションを取り付けた場合に設定します。※使用しない場合は[OFF]を選択。



8. CRA(クルーズアシスト)の設定

別売のクルーズアシストハーネスを取り付けた場合に設定します。※使用しない場合は[OFF]を選択。



10. 設定終了

設定終了後は安全のため動作OFFになります。使用する場合はENTERを押してください。

7.オプション(別売)のご紹介

●詳細は各オプションの取扱説明書をご確認下さい。

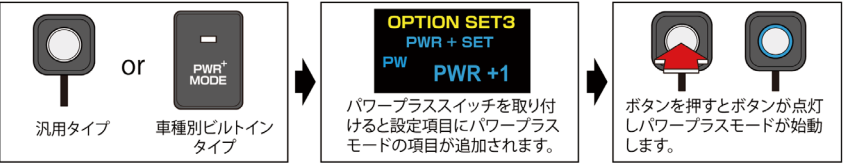
1.パワープラススイッチ

汎用タイプ 品番:TZ-SW1W(白色LED):TZ-SW1B(青色LED)

ビルトインタイプ 品番:TZ-SW21(トヨタ/スズキ部):TZ-SW22(トヨタB):TZ-SW23(ホンダ)

※使用には初期設定が必要です。詳細はパワープラススイッチの説明書をご確認下さい。

●オプション(別売)のパワープラススイッチを取り付けることにより三段階のパワープラスモードが使用可能になります。



汎用タイプ or 車種別ビルトインタイプ

OPTION SET3
PWR + SET
PW PWR +1

パワープラススイッチを取り付けると設定項目にパワープラスモードの項目が追加されます。

ボタンを押すとボタンが点灯しパワープラスモードが始動します。

PWR+1、PWR+2、PWR+3の三段階のモードを選択可能。
SPORT6モードを超える強烈な加速を体感できます。
※使用は周辺の安全を確認の上で使用ください。

2.OBD12V電源アダプター 品番:FAOBD

車両診断装置(OBD2)に接続することで簡単に常時12V電源が取り出せます。

3.キャンセラーハーネス 品番:TZ-CN4M(-):TZ-CN4P(+)

車両のアイドリングストップスイッチに接続することでエンジン始動時に自動でアイドリングストップをキャンセルします。急発進防止のためリバース線に接続することでリバースギヤに入ると自動で機能OFF(ノーマル)にする機能です。※アイドリングストップキャンセル/リバースキャンセルどちらかの機能だけでも使用可能です。

4.クルーズアシストハーネス 品番はメーカー別適合表参照

純正オートクルーズはブレーキを踏むとクルーズが解除され、クルーズの復帰はステアリングスイッチでマニュアル操作が必要ですが、この機能を使用することでアクセル操作で自動復帰することができる便利な機能です。

5.リンクシステム(AUX2)接続オプション 品番:TZ-MLS1

ミニコンと連動させることでパワーパップも可能になります。

8.トラブルチェック

警告 走行中などでエンジンチェックランプが点灯しエマージェンシーモードに入り、エンジンが吹けあがらない状態になった場合は、車両を安全な場所へ移動し一旦停車させ、エンジンを停止してしばらくしてからノーマル状態にして再始動させて下さい。

本製品使用時にエンジン不調等の症状やエンジンチェックランプが点灯する場合はノーマル状態へ戻して下さい。

【コントローラーが表示しない】

- 12V電源の接続状態、常時12V(イグニッション電源)へ確実に接続されているか確認して下さい。
電源場所によっては他電装品の仕様で電圧が安定しない場合がありますので、電源の取りだし場所を変更してください。

【エンジンを停止させても表示が消えない】

- アクセルセンサーの電源が落ちないとスロットルブースターの電源も落ちません。現在の車はエンジン停止後も待機状態でECU、センサーに電源供給をして車両により5分~20分程度かかる場合もあります。

【アイドリング不調】

- 初期設定でアクセル信号が入力失敗の可能性があります。初期設定を再度おこなって下さい。
その際は確実に全閉(0%)と全開(100%)でアクセルを踏んでください。
- 取り付け作業時にバッテリーをはずしてしまった時はアイドリング学習が必要です。カーディーラー等にて確認して下さい。

【エンジンチェック点灯、吹けあがらない】

- エンジンを切ってもしくはアクセルセンサーに電源が供給されます。その間にセンサーカプラーを抜くと断線でチェックランプが点灯します。
日産などのオートACC搭載車はドア開閉やナビ操作で自動でACCIになる場合があります。確実に電源が落ちているか確認して下さい。
 - 装着車両を変更した時は必ず【初期設定】をおこなって下さい。
 - 12V電源の接続状態、常時12V(イグニッション電源)へ確実に接続されているか確認して下さい。
 - オプションのキャンセラーハーネスを取り付けている場合は配線が正しく接続されているか確認して下さい。
 - エンジンルームにもアクセルセンサーと同形状のカプラーがあります。他のカプラーに接続した場合は正常に作動しません。
 - カプラーの取り付け位置、カプラーがロックされているか再確認して下さい。
- ※ アクセルセンサーは運転席のアクセル付近にあります。※品番末尾「TB-HBF2」適合製品はエンジンルームにあります。
※ 品番末尾「G2、G3、G4、G5、G6」の製品(TB-##G#)は表裏逆向きに差し込みが可能なため気を付けて作業して下さい。

【操作してないのにブザー音がする】

- アイドリングストップキャンセル(AUX1)をONにするとエンジン始動10秒後にブザー音がします。
- アクセルスイッチをONにするとモード切替時にブザー音がします。

【点灯したチェックランプを消す方法】

- 正常な状態で【エンジン始動】⇔【数分間エンジン停止】を3~5回繰り返して下さい。ECUが正常と判断しエンジンチェックが消えます。
- ※ エンジンを切って完全に電源が落ちるまで数分待ってからエンジンを始動を繰り返して下さい。
- 何度やってもエンジンチェックが消灯しない時はカーディーラー等の専用機器のある工場にてエラー消去して下さい。